

# とよはしエコ通勤運動 **eco2kin** とよはしエコ通勤 の実績と今後の展開

かしこい「クルマと公共交通」の使い方を考えるプロジェクト・とよはし

山口 雅己、刈馬 正浩（豊橋市 都市計画部 都市計画課）  
藤井 聡（京都大学大学院工学研究科 都市社会工学専攻教授）



# 発表の流れ【全体構成】

- 1. 豊橋市の紹介
- 2. 豊橋市の公共交通の現状
- 3. 豊橋市の交通計画におけるMMの位置付け
- 4. これまでに実施したMM
- 5. とよはしエコ通勤運動
- 6. 今後の展開



# 1. 豊橋市の紹介



日本を代表する自動車流通港である三河港



南部地域に広がる農地



砂浜と海岸林が繋がる表浜



# 1. 豊橋市の紹介

## シティプロモーション(ええじゃないか豊橋推進計画)の核となる4つのコンテンツ





# 1. 豊橋市の紹介



行政区域	261.35km <sup>2</sup>
市街化区域	61.74km <sup>2</sup>
市街化調整区域	199.61km <sup>2</sup>

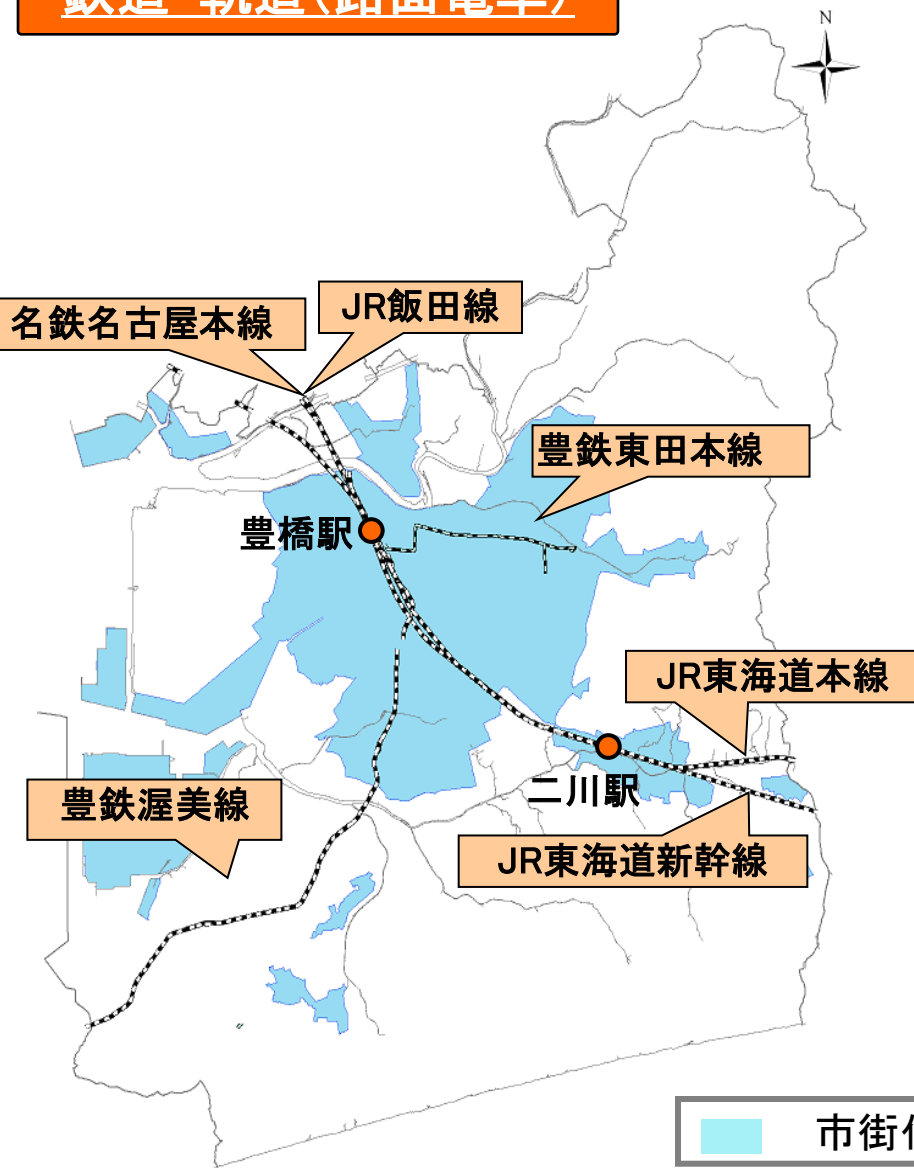
平成23年4月1日現在

人口	372,479人
市街化区域	287,411人
市街化調整区域	85,068人

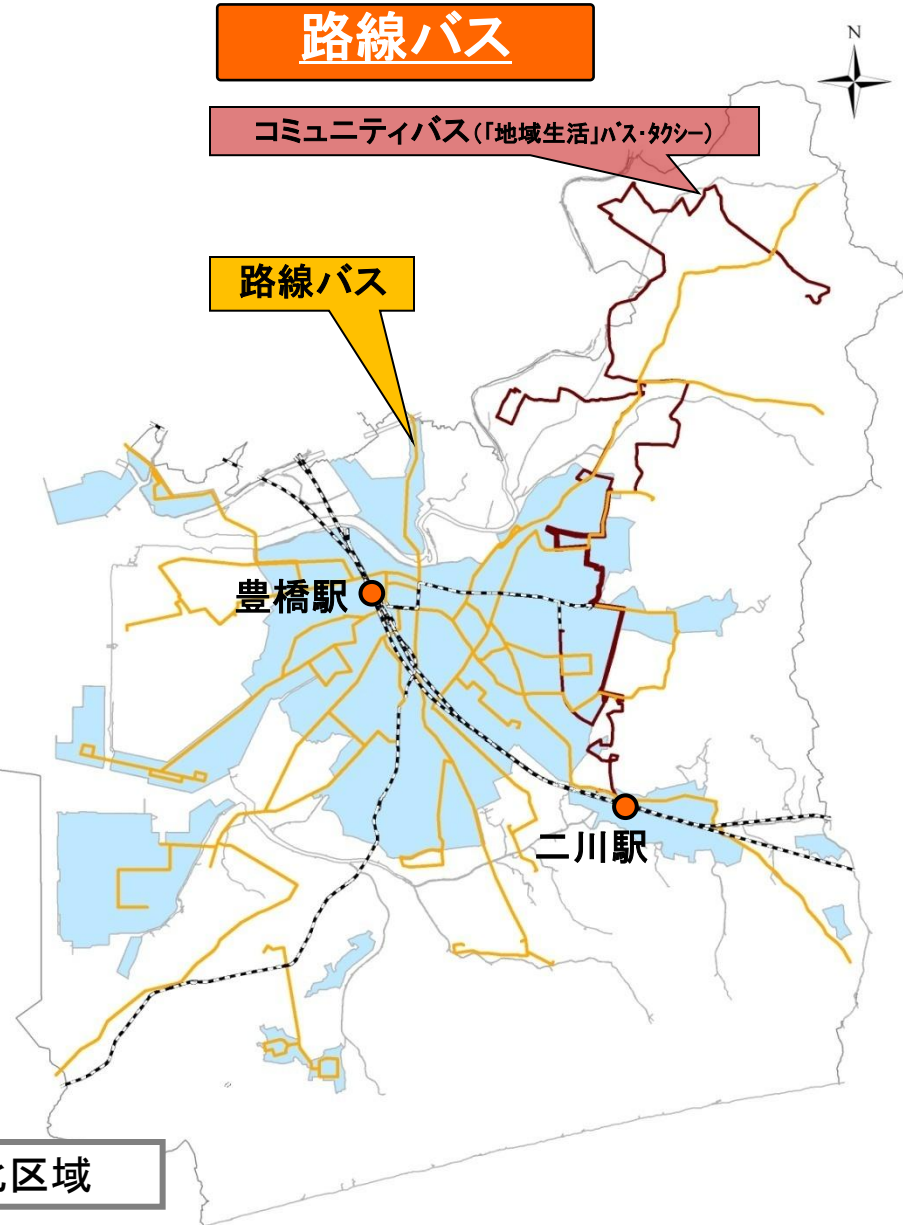
資料:平成17年国勢調査、愛知県都市計画基礎調査

## 2. 豊橋市の公共交通の現状

### 鉄道・軌道(路面電車)



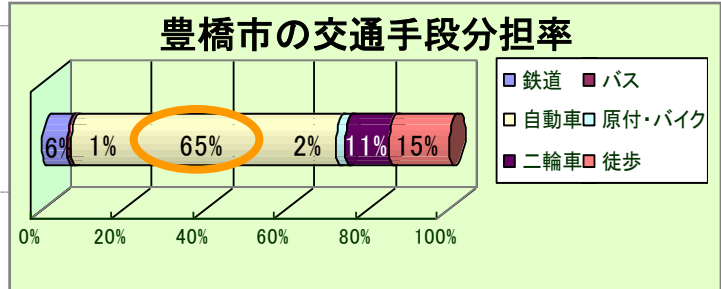
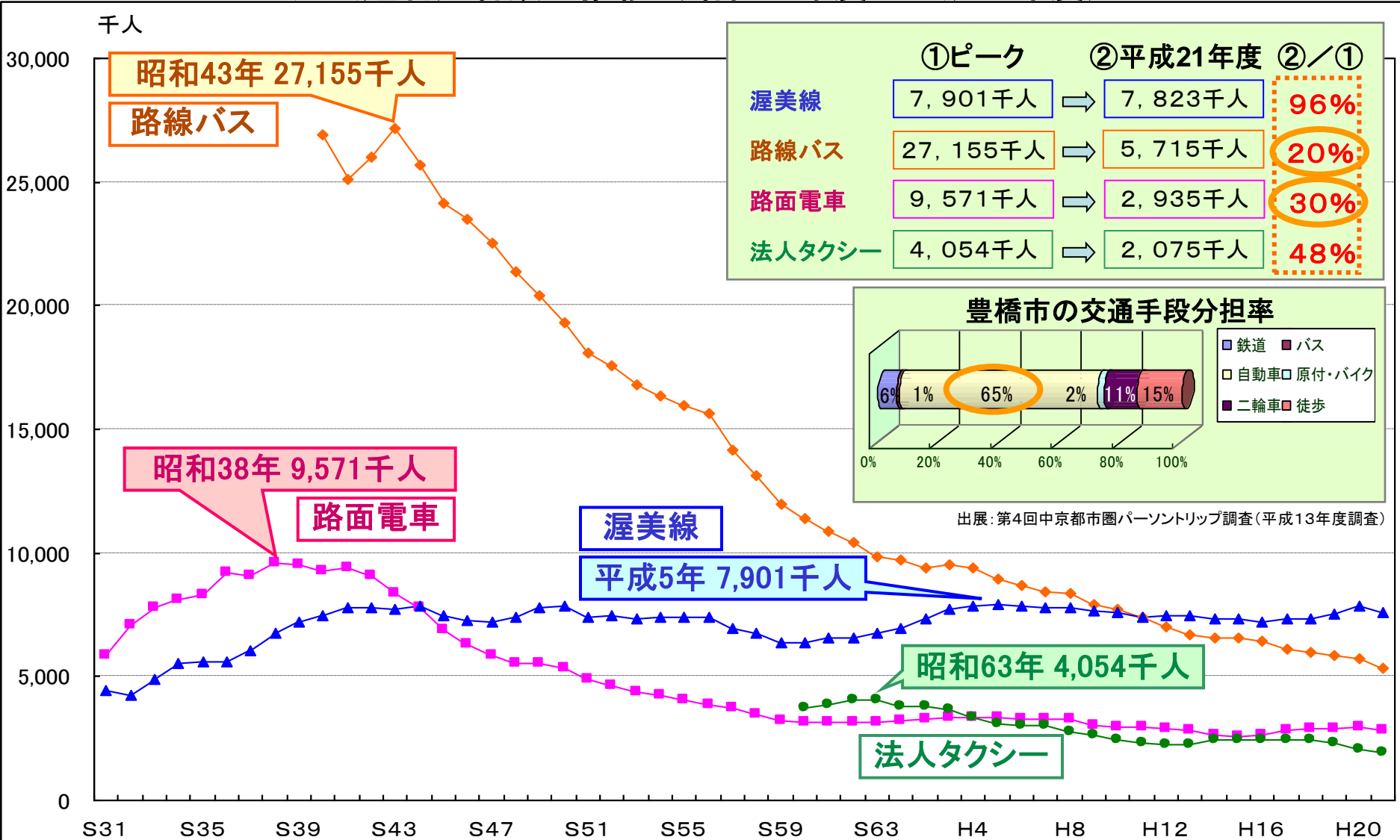
### 路線バス





# 2. 豊橋市の公共交通の現状

## 公共交通利用者数の推移（昭和31年度～平成21年度）



出展: 第4回中京都市圏パーソントリップ調査(平成13年度調査)

### 3. 豊橋市の交通計画におけるMMの位置付け

#### 豊橋市の交通施策

豊橋市都市交通ビジョン(平成16年3月策定)



#### 基本理念

『過度に自動車交通に依存しない都市交通体系の構築』

豊橋市都市交通マスタープラン (平成18年3月策定)

交通手段別交通施策

徒歩・自転車

公共交通

自動車

基本目標別交通施策

地域別交通施策

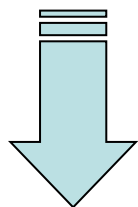
目指す都市交通体系の実現には公共交通の活性化が必要



### 3. 豊橋市の交通計画におけるMMの位置付け

#### 豊橋市地域公共交通活性化方策（平成18年9月策定）

「豊橋市都市交通マスタープラン」のうち地域公共交通に関する施策を  
実行していくためにまとめたもの

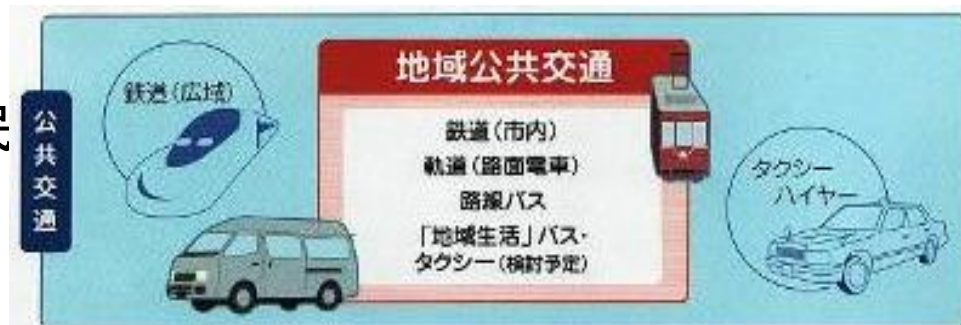


公共交通の利便性向上させる  
交通に対する意識改革の必要がある

計画に「**交通意識の変革の促進**」を位置付ける

#### 「地域公共交通」とは

通勤・通学・通院・買い物など、住民の日常生活に利用される乗合型の公共交通



## 4. これまでに実施したMM

### 「交通意識変革促進プログラム(=モビリティマネジメント)」

として、以下の3カ年計画を策定し、各事業を試行的に実施

年度	対象	目的
平成18年度	公共交通	路線バス等の利用促進 (運行システム改善とMM施策の併用)
	学校教育	将来に向けた意識形成(学校教育を対象としたMM施策 (出前講座授業とバス乗り方教室の実施)
平成19年度	事業所	通勤時の交通行動の変革 (市役所職員等を対象としたMM施策)
平成20年度	転入者	公共交通利用習慣のきっかけづくり (公共交通マップ配布とMM施策の併用)
	市民	公共交通情報の提供による利用転換の促進 (公共交通マップの配布)



以後、試行で作成したプログラムを活用して他の路線(地域)、学校、事業所へ展開し、モビリティマネジメントを継続実施及び地域・対象を拡大

## 4. これまでに実施したMM

### 平成19年度(事業所MM)

#### [概要]

通勤時間帯の渋滞が問題になっている地域に立地する事業所を対象にモビリティマネジメントを実施し、交通に対する行動と意識変革を促すことを目的に実施

#### [対象]

- ◆豊橋市役所本庁舎に勤務する市職員 約1,000人
- ◆通勤時間帯に渋滞が発生する地域の事業所2社 約100人

#### [実施内容]

- ①コミュニケーションアンケートの実施(H19.12)  
【通勤時刻表や動機付けチラシの同時に配布】
- ②講演会「かしこいクルマと公共交通の使い方を考える  
(東京工業大学:藤井教授)」の開催(H19.12)
- ③事後評価アンケートの実施(H20.1)
- ④市役所周辺の交通実態を把握
- ⑤参加者への情報提供(プロジェクト通信の発行)




講演会の様子

# 4. これまでに実施したMM

## 平成19年度(事業所MM)

### ◆コミュニケーションアンケート実施時の主な配布物



**かしこいクルマの使い方を考えてみませんか？**

—アンケートのご協力をお願い—

参加いただく皆さんへ

渋滞は、ドライバーに“苦痛”を与えるだけでなく、沿道や大気そして“地球環境”に悪影響を及ぼす、深刻な問題になっています。

この問題に取り組みため、**かしこいクルマの使い方**を考える機会を設けるための試行プログラムを実施することいたしました。本アンケートはその一環として、通勤や荷物のクルマ利用についてお聞きするものです。

是非ともご協力いただけますよう、よろしくお願い致します。

平成19年12月  
豊橋市役所 都市計画部都市計画課

【ご回答に当たってのお願い】

- 10分程度で回答可能です。
- このアンケートは、2枚返信になっています。中巻のアンケート用紙にこの巻の上、別途「(返信用) 券はがき」を同封（返信用）のみで、12月0日（△）までに出発いただくようお願いいたします。
- ご回答いただいた内容については、すべて統計的に処理しますので、個人の情報は一切公表いたしません。

※ご質問等は、下記までお問い合わせください。  
〒440-8501 豊橋市今橋町1番地  
豊橋市役所 都市計画部都市計画課 担当：南條 山口  
TEL: 0532-51-2620  
FAX: 0532-55-6108

調査票（返信用）  
ご回答、ありがとうございます。

問1 現在、どの交通機関で通勤/通学していますか？  
※この質問で毎日必ず1つだけ記入してください。  
※「電車・バス等」(それぞれ)に記入の際は、具体的な交通機関を使うもの全てにの口に✓を付けてください。

1. 電車・バス等 通に  休に  休みの日   
2. 自動車だけ 通に  休に  休みの日   
3. オートバイだけ 通に  休に  休みの日   
4. 自転車だけ 通に  休に  休みの日   
5. その他 通に  休に  休みの日

問2 普段の通勤/通学の出発・到着の時刻は？

朝  分頃に 自宅を出発し、  
朝  分頃に 職場に着きます。

問3 あてはまる口に“V”印をつけて下さい。  
※ここでのクルマ通勤は運転することだけでなく、「乗車」も意味します。

①クルマ通勤は、あまり環境によくないと思いませんか？  
②クルマ通勤は、あまり健康によくないと思いませんか？  
③クルマ通勤は、できることなら考えた方がよいと思いませんか？  
④クルマ通勤は、できるだけ控えてみようと思いませんか？

①  ②  ③  ④

問4 自宅から自転車で、通勤/通学しようと思えばできると思いませんか？

できる/やっている  
 無理ではないが、難しい  
 絶対に無理

問5 自宅からオートバイで、通勤/通学しようと思えばできると思いませんか？

できる/やっている  
 無理ではないが、難しい  
 絶対に無理

問6 皆さんに、「電車やバス等」を使った通勤/通学についてお聞きします。  
※ここで、両方の「通勤/通学」を記入してください。

①電車・バス等で、通勤/通学しようと思いませんか？

できる/やっている  
 無理ではないが、難しい  
 絶対に無理

②電車・バス等で通勤する場合は、職場の最寄り駅・バス停等は？ (例: 新橋南側)  
その駅・バス停等と職場の間は、どのように移動しますか？ (歩いてはまるもの全てに✓を)  
また、その所要時間は？ (例: 職場から5分程度)

職場から  徒歩  自転車  タクシー  その他( )  その他( ) 分程度

③その駅・バス停等から帰る際の、電車・バス等の時刻は？


通  分

④電車・バス等で通勤する場合は、自宅の最寄り駅・バス停等は？ (例: 西園地)  
その駅・バス停等と自宅の間は、どのように移動しますか？ (歩いてはまるもの全てに✓を)  
また、その所要時間は？ (例: 自宅から5分程度)

自宅から  徒歩  タクシー  自転車  その他( )  その他( ) 分程度

送迎  自転車/その他  車を使う  乗り換える  その他( ) 分程度

### コミュニケーションアンケート



「かしこいクルマの使い方」  
を考えてみませんか！

クルマはとても便利で、快適な移動手段です。

しかし、クルマの移動には、困った事も少なくありません。

「渋滞のイライラ」はもちろんのこと、会社帰りの「ちょっと一杯…」も遠のいてしまいます。

ここではこのことについて、少しじっくりと考えてみましょう。

**少しだけ、クルマの使い方を振り返る.....**

クルマは確かに便利で快適です。しかし、「健康、渋滞...」そして、「環境問題」と困ったこと、があることも事実です。

便利なクルマと**かしこく**お付き合いするためには、例えばこんな方法があります。

- ・ **週に一度は、電車・バスで通勤する**
- ・ **自転車やバイクを使って通勤する**
- ・ **買い物やレジャーの際、遠くに行かず**近くの目的地**に変える**
- ・ **一度の外出で、いろいろな用事を済ます**

もし、一人ひとりが、もう少しだけ考えれば、「あなた」も「社会」も、もっと便利で楽しくなるかもしれません。

この資料に関する問い合わせ先  
豊橋市都市計画部都市計画課 担当：南條・山口  
連絡先：〒440-8501 豊橋市今橋町1番地  
0532-51-2620

### 動機付けチラシ



# 4. これまでに実施したMM

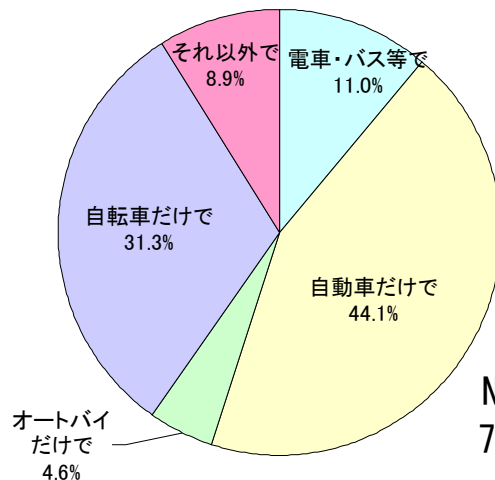
## 平成19年度(事業所MM)

### [効果]

- ◆コミュニケーションアンケートの実施や講演会の開催などによって、交通に対する意識が変化
- ◆市職員アンケートでは、電車・バスが1.3%増加し、自動車通勤が1.2%減少

### 回答者全体の通勤時の交通手段の変化

コミュニケーションアンケート



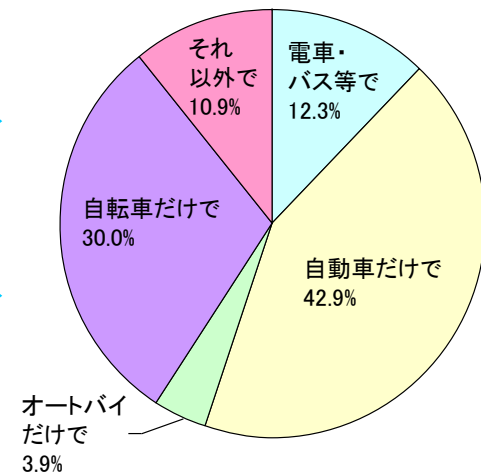
電車・バス

1.3%増加

自動車

1.2%減少

事後評価アンケート



※MM アンケート・事後アンケートの両方に回答した人のみ

市  
職  
員

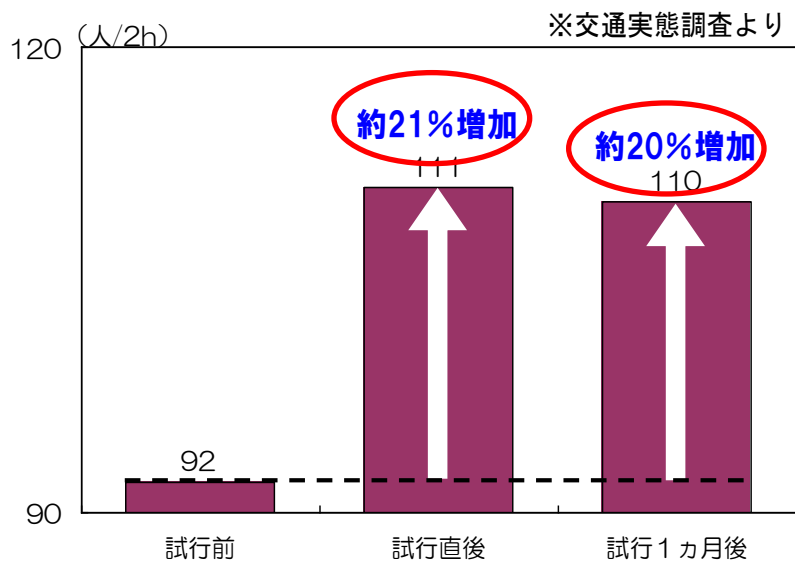
## 4. これまでに実施したMM

### 平成19年度(事業所MM)

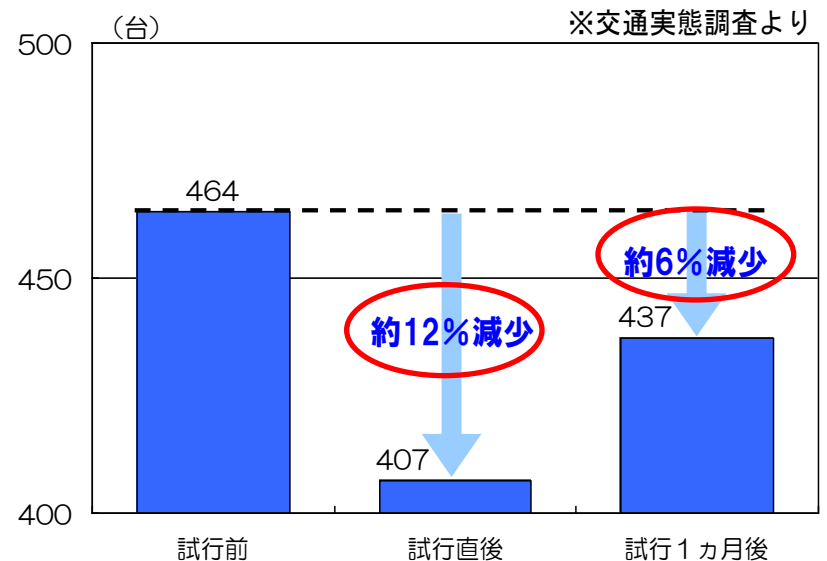
#### [効果]

- ◆実際の交通実態では、市役所周辺の停留所の利用者が約20%増加し、市職員用駐車場の利用台数が6~12%減少

市役所周辺のバス停留所の降車人数の変化



市職員用駐車場利用台数の変化





## 4. これまでに実施したMM

### 事業所MMのこれまでの経過

年度	対象	内容・効果
平成19年度	市職員、民間事業所2社	コミュニケーションアンケートや講演会の実施により、市職員用駐車場の利用台数が6～12%減少
平成21年度	市職員	講演会(京大藤井教授)を開催(人事・都市計画課共催)。参加者の94%が自動車通勤の削減の必要性を認識
平成22年度	市職員	<b>とよはしeco2kin(エコ通勤)運動</b> (事務局:行政課) 講演会(京大藤井教授)を開催(人事・都市計画課共催) 参加者の97%が自動車通勤の削減の必要性を認識



## 5. とよはしエコ通勤運動

### 目的

- ◆市役所の職員が率先して、自動車やオートバイから、自転車や徒歩、電車、バス、車の相乗りなど、環境にやさしい交通手段で通勤する運動
- ◆次の効果をあげることを目的に平成22年4月から取り組みを開始
  - ①地域レベルでの地球温暖化防止への貢献
  - ②交通渋滞の緩和及び公共交通機関の活性化への寄与
  - ③職員の健康増進

### 目標

職員のエコ通勤率50%  
それにより、当面、年30t、最終的には、年300tのCO<sub>2</sub>を削減

# 5. とよはしエコ通勤運動

## 取組み内容

### 「エコ通勤管理者」の設置

- ◆各課に「エコ通勤管理者」を設置して、「エコ通勤」の実践の監督者とする。
- ◆各職場での「エコ通勤」の奨励に努める。

### 職員がお金を出し合った積立金を活用して、次の取り組みを実施

- ◆「エコ通勤」報奨制度  
「エコ通勤」実践者に、月500円分のクオカードを配って、「エコ通勤」の普及と地域経済の活性化に役立てる。
- ◆通勤用自転車の購入補助制度  
通勤用自転車の購入者に、1万円（電動自転車は3万円）を上限に購入金額の1/2を補助。
- ◆パーク＆ライド駐車場使用料補助制度  
路面電車や渥美線等の駅周辺の駐車場利用者（豊橋駅から半径5km超）に、月2千円を上限に使用料金の1/2を補助。

### 通勤手当の見直し

通勤距離2km～8kmの自動車通勤者の手当の引き下げ、自転車通勤者の手当の引き上げ

(通勤距離)	(従来)		(自動車通勤)	(自転車通勤)
2km～5km	3,600円/月	⇒	2,000円/月	4,600円/月
5km～8km	6,100円/月	⇒	4,100円/月	7,100円/月

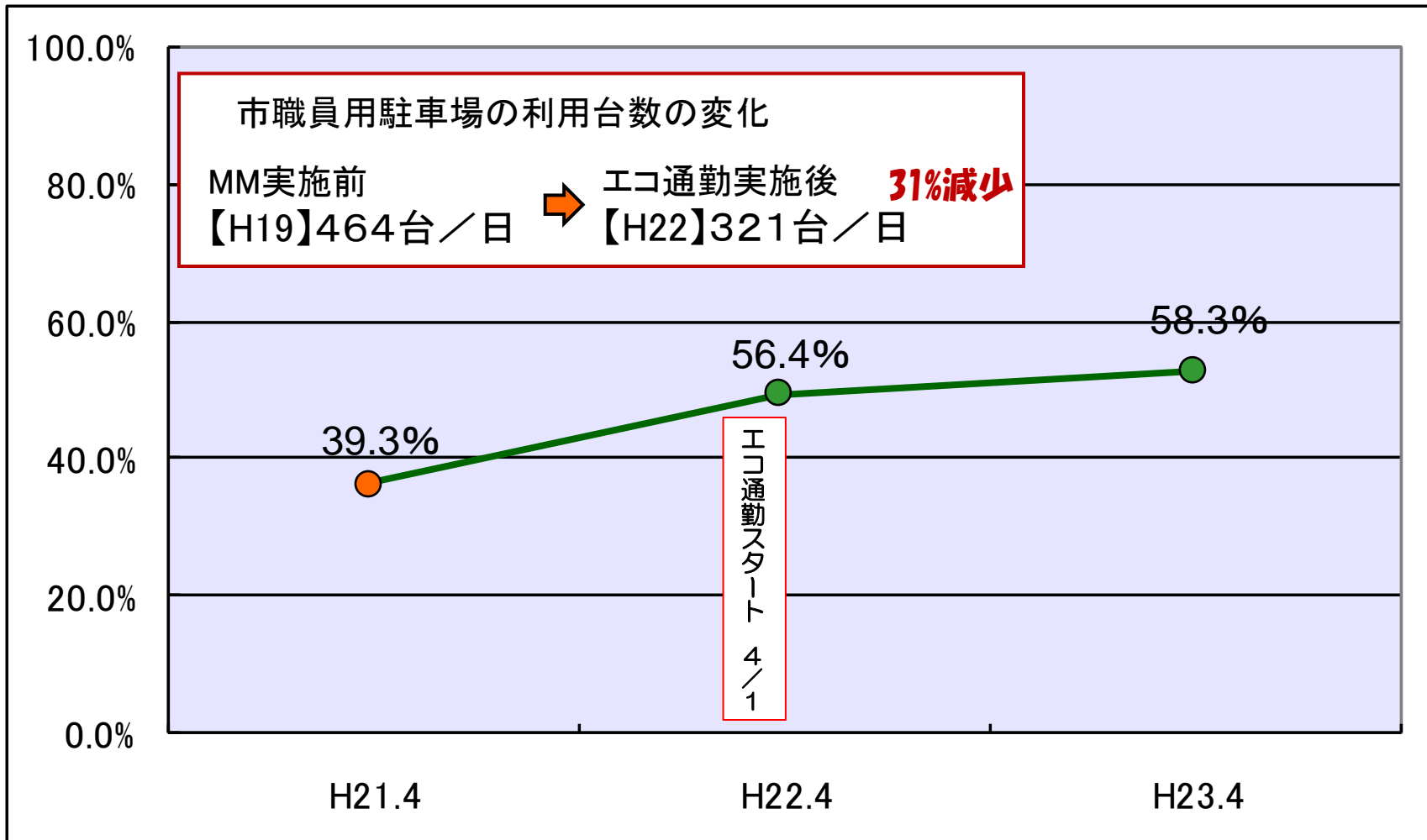




# 5. とよはしエコ通勤運動



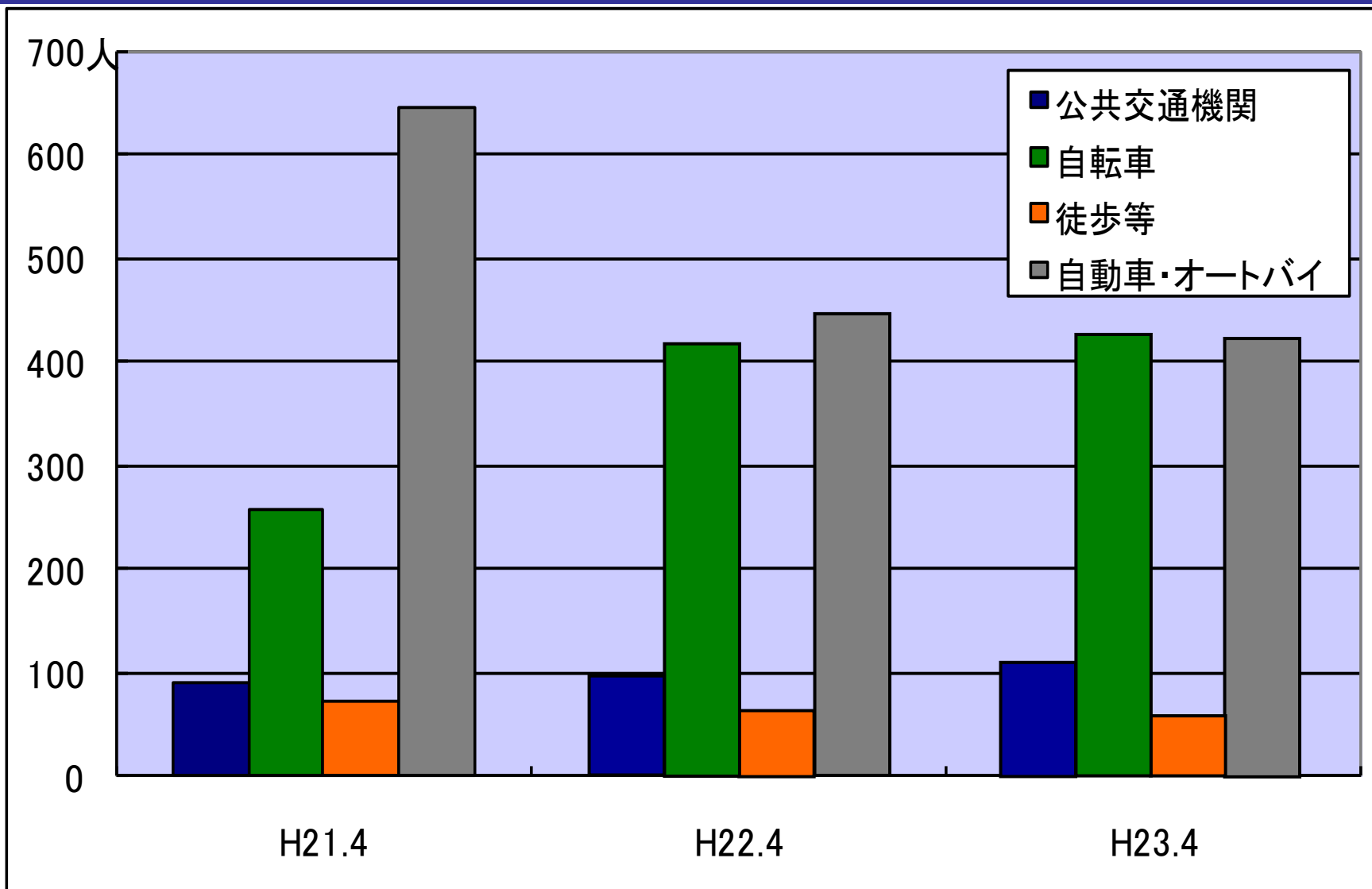
## 取組み実績【エコ通勤率（本庁舎）の推移】





## 5. とよはしエコ通勤運動

### 取組み実績【エコ通勤者（本庁舎）の内訳の推移】



# 5. とよはしエコ通勤運動

## 取組み実績



### ◆「エコ通勤」報奨制度

「エコ通勤」実践者に、月500円分のクオカードを配って、「エコ通勤」の普及と地域経済の活性化に役立てる。

【平成22年度実績】 実人数 468人

### ◆通勤用自転車の購入補助制度

通勤用自転車の購入者に、1万円（電動自転車は3万円）を上限に購入金額の1/2を補助。

【平成22年度実績】 合計 128人（普通自転車107人、電動自転車21人）

### ◆パーク＆ライド駐車場使用料補助制度

路面電車や渥美線等の駅周辺の駐車場利用者（豊橋駅から半径5km超）に、月2千円を上限に使用料金の1/2を補助。

【平成22年度実績】 申請者 8人

### ◆エコ通勤優良事業所認証制度への参加・登録

【平成22年度実績】 5月13日付け申請      5月31日付け認証登録

### ◆CO2排出量の削減

【平成22年度実績】 495 t



## 6. 今後の展開

### ◆事業所の通勤交通対策の推進

#### ○市役所職員自らが「とよはしエコ通勤運動」を積極的に実践

- ・ 本庁舎のエコ通勤率のさらなる向上、市役所全体のエコ通勤率目標の達成に向けた対策の検討

#### ○通勤時間帯の渋滞が問題になっている地域における通勤対策の実施

- ・ 地域住民、事業所、市など関係者が参画する協議会組織を設置し、対策を検討
- ・ 交通システムの改善とセットでモビリティマネジメントの実施を計画

その他・・・

◆特定公共道路の利用促進対策【公共交通MM】、

◆小学校の出前講座（訪問授業）・バス乗り方教室の実施【学校教育MM】、

◆公共交通マップの改善・情報更新【転入者・市民MM】

についても取組みを継続



# ご清聴ありがとうございました

豊橋鉄道渥美線



「地域生活」バス・タクシー(コミュニティバス柿の里バス)



豊橋鉄道東田本線(路面電車)「全面低床電車・ほつらム」



豊鉄バス



豊橋市マスコット  
「トヨッキー」